さんけん新聞

発　行
特例認定
ＮＰＯ法人
三段峡―太田川
流域研究会
（代表・本宮炎）

〒731－3813
広島県山県郡
安芸太田町
柴木1734
☎090・
3421・3046
◇
https://sanken-hiroshima.org/

自然あそび縁　歓声!!夏満喫　さんけん自然塾

夏休みに入って安芸太田町内のお母さんグループが企画運営する環境教育ツアー「自然あそび縁」と、中学生が講師になる「さんけん自然塾」が三段峡入り口で開かれた。「あそび縁」には幼児ら90人以上、「自然塾」には小学生15人が参加。自然を学び、夏を満喫した。

川に寝転び 魚つかみ捕り
あそび縁　予想以上の申し込み

「自然あそび縁」には予想以上の申し込みがあり、七月二十三日と二十五日の両日、午前と午後のメニューを組み立て、川遊びや魚のつかみ捕りなど「夏をあそぼ」をテーマにして開かれた＝写真上。

ママさんスタッフによる親子三段峡ヨガや大型絵本の読み語りから始まり、川で寝転がったり、魚を探したりした。三段峡漁協の協力でアマゴのつかみ捕りを体験し、学生スタッフに教えてもらい魚をさばいた。

保護者からは後日、「未就学児にとって貴重な体験」と感謝のメールが届いた。次回は十月二十四日、「ほっこり森の宝物満喫ツアー」を実施する。

釣りや川遊び 生き物調査
自然塾　河原で初のテント宿泊

「さんけん自然塾」は七月三十一日から、初のテント宿泊による日程で、「夏の川遊びと生き物調べ」をテーマに開かれた＝写真下。講師は安芸太田中学生の本宮芳太郎君と石田悠侑君の二人、三段峡の自然や生き物の大切さを伝えた。

一日目はゴリ釣り、シュノーケリング、テント設営、夜の川調査。二日目は清流の生き物調査、クイズ大会など濃い内容だった。企画は講師二人が考えた。参加した保護者は子供とは別に、ヨガ教室やシャワークライミングを体験した。

自然塾はＧｒｅｅｎＧｉｆｔ地球プログラムの助成事業。一昨年からの事業だがコロナ禍のため、現地イベントは中止され、今回が初めての実施となった。

南峰と歩く ㊽　二谷（ふただに）

「真に極楽のような感じがして」

ぐるの瀬の右岸、木下闇の石間から水が噴出し、風情良く大石が折り重なる本流へ溶け込んでいるのが二谷川である。下流から「ぐる滝」「二谷」「黒滝」の三景勝があり、合流点から約一キロにわたって名勝指定区間になっている。熊南峰の頃は川沿いに道が付いていたと思うが、今は消えている。

■森の精霊の気配が

地獄谷の回で触れた右岸高所の古道が、現在も柴木集落から二谷川へ通じている。但し、本来は景勝の二谷へ着くはずなのだが、黒滝の上流へ出る。滝近くを降りるのは困難で、手前で道を外れ、斜面を下るのが安全である。

険しい地形の流域にあって二谷は、穏やかな場所である。トチノキの純林が枝葉を天一面に広げる。木洩れ日が揺れ、分かれた細流が優しく音を立て、森の精霊が透けて見えそうな雰囲気である。

■三景勝の道復活を

南峰は二谷を「真に極楽のような感じがして」、しみじみと自然の有難さを覚えずにはいられない」と記している。

当時は交通の要所で、黒淵へ至る道と、地獄谷を越えて葭ケ原へ抜ける道とに別れていた。今はない。せめて、南峰らが歩いた三景勝の道を復活させ、危険なく鑑賞できるようにしたいものだ。（松尾　俊孝）

一口メモ

▼自然の声に耳

新型コロナウイルスの感染が県内でも急拡大する中、夏休みに入って三段峡を訪れる人が多い。事業者による「猿飛・二段滝パックラフトツアー」と任意団体による三段峡を野外博物館に見立てたガイドツアーが始まった。こんな時世だからこそ、自然の声に耳を傾ける機会になればと願う。

中国新聞写真連載企画「太田川　恵みと営み」
南峰の功績 迫力の景観を紹介

七月二十五日付中国新聞の写真連載企画「太田川恵みと営み」で、三段峡が紹介された。熊南峰の功績に焦点を当て、蓬莱岩をドローン撮影した迫力の景観が秘境感を伝えた＝写真。

三段峡の撮影ポイントを探していた安部慶彦記者に本宮炎理事長が、石樋から蓬莱岩までの渓流ルートを提案した。ロケハンした後の十五日、さんけんメンバーら五人が取材に同行し、蓬莱岩に上って撮影に協力した。

二谷ルート整備
三回試みるも難航

ぐるの瀬から二谷へ通じる道の整備を七月、三回試みたが難航した。広島市内から男性十人が参加した七日と、三段峡清掃として企画した十八日は雨天のため途中断念。二谷までの道の現状把握を目的にした二十八日は、崩落や棘に覆われ、安全確保のため引き返した。二谷は、ぐるの瀬へ流れる支流で、熊南峰の地図にも景勝名が記載され、名勝指定区間になっている。

町有地 事業者へ賃貸せず
安芸太田町　風力発電計画で方針

国内最大級の風力発電所の建設計画について安芸太田町は七月十六日、建設予定地の町有地を事業者に賃貸および使用させない方針を決めた。この日の町議会全員協議会で橋本博明町長らが説明した。町有地はほとんどが町有林で町が開発禁止区域にしている。

風車建設によって土砂崩れなどの危険が増大し、騒音被害や生態系への影響も考慮したとしている。設置予定の風車全三十六基の半数以上が対象になる。

環境教育のファシリテーション講座
受講者 募集

環境学習を実践する人が専門的技能を取得し、速やかに即戦力として活躍できるのを目的とし、ワークショップやフィールドワークによる実践を通して、新しいスキルを身に付けます。定員20人。無料

日程：9月23日（祝）、10月10日（日）、11月13日（土）
場所：安芸太田町　三段峡ホテルなど
主催：広島県（環境政策課）
コーディネーター：さんけん
運営・問い合わせ・申し込み先：
NPO法人環境パートナーひろしま
☎080－2937－1579